

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公表番号】特表2004-504324(P2004-504324A)

【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-512190(P2002-512190)

【国際特許分類】

C 0 7 D 487/04	(2006.01)
A 6 1 K 31/55	(2006.01)
A 6 1 P 1/08	(2006.01)
A 6 1 P 3/08	(2006.01)
A 6 1 P 9/02	(2006.01)
A 6 1 P 9/04	(2006.01)
A 6 1 P 9/10	(2006.01)
A 6 1 P 13/02	(2006.01)
A 6 1 P 15/00	(2006.01)
A 6 1 P 21/02	(2006.01)
A 6 1 P 25/00	(2006.01)
A 6 1 P 25/02	(2006.01)
A 6 1 P 25/06	(2006.01)
A 6 1 P 25/08	(2006.01)
A 6 1 P 25/14	(2006.01)
A 6 1 P 25/16	(2006.01)
A 6 1 P 25/18	(2006.01)
A 6 1 P 25/22	(2006.01)
A 6 1 P 25/24	(2006.01)
A 6 1 P 25/28	(2006.01)
A 6 1 P 25/34	(2006.01)
A 6 1 P 25/36	(2006.01)
A 6 1 P 27/02	(2006.01)
A 6 1 P 31/18	(2006.01)
C 0 7 D 495/04	(2006.01)
C 0 7 D 513/04	(2006.01)

【F I】

C 0 7 D 487/04	1 5 0
A 6 1 K 31/55	
A 6 1 P 1/08	
A 6 1 P 3/08	
A 6 1 P 9/02	
A 6 1 P 9/04	
A 6 1 P 9/10	
A 6 1 P 13/02	
A 6 1 P 15/00	
A 6 1 P 21/02	
A 6 1 P 25/00	
A 6 1 P 25/02	
A 6 1 P 25/06	
A 6 1 P 25/08	

A 6 1 P 25/14
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/18
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/34
A 6 1 P 25/36
A 6 1 P 27/02
A 6 1 P 31/18
C 0 7 D 495/04 1 0 8
C 0 7 D 513/04 3 6 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項1

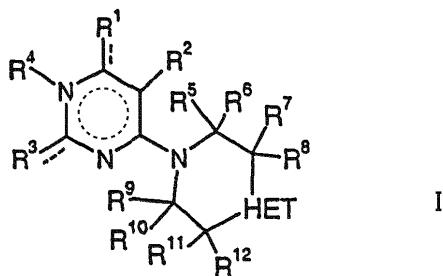
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

一般式I:

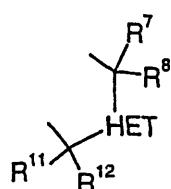
【化1】



(式中、

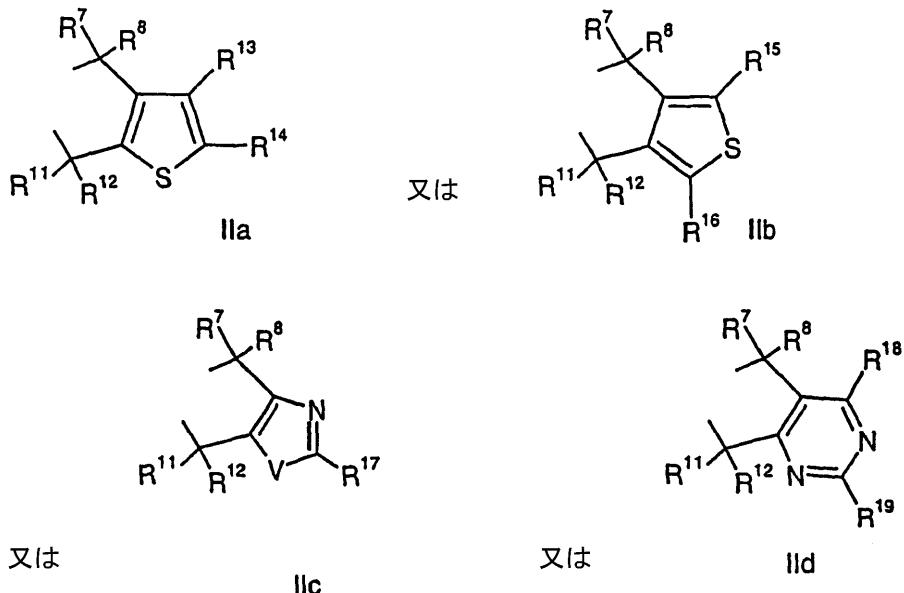
R¹は、酸素、ヒドロキシ、低級アルコキシまたは2,2,2-トリフルオロエトキシを表し、R²は、ニトロまたはシアノを表し、R³は、水素、低級アルキル、酸素、低級アルコキシ、アミノ、低級アルキル-アミノまたはヒドロキシ-低級アルキル-アミノを表し、R⁴は、水素、低級アルキルまたは低級アルケニルを表すか、あるいは、隣接する窒素原子が既に-N=または=N-として三つの結合の起点である場合には、存在せず、R⁵、R⁶、R⁹およびR¹⁰は、互いに独立に、水素または低級アルキルを表し、

【化2】



は、式IIa、式IIb、式IIcまたは式IId:

【化3】



を表し、

R⁷、R⁸、R¹¹またはR¹²は、互いに独立に、水素、低級アルキルまたはヒドロキシを表し、

R¹³およびR¹⁴は、互いに独立に、水素または低級アルキルを表し、

R¹⁵およびR¹⁶は、互いに独立に、水素または低級アルキルを表し、

R¹⁷は、水素、低級アルキル、低級アルコキシ、ヒドロキシまたはアミノを表し、

R¹⁸は、水素またはヒドロキシを表し、

R¹⁹は、水素、低級アルキル、低級アルコキシ、ヒドロキシまたはアミノを表し、

Vは、NH、SまたはOを表し、および

点線は結合であってもよい)の化合物、およびそれらの薬学的に許容しうる塩。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項1~3

【訂正方法】変更

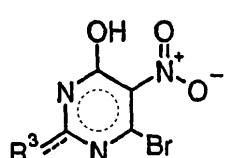
【訂正の内容】

【請求項1~3】

請求項1~8のいずれか一項記載の化合物並びにそれらの薬学的に許容しうる塩の製造方法であって、

a) 式III:

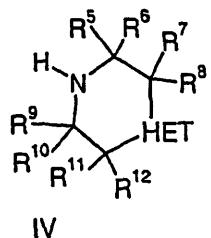
【化4】



III

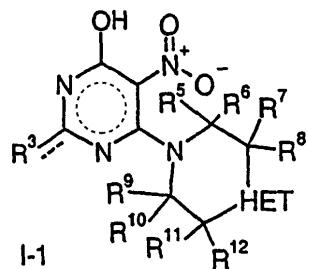
の化合物を、式IV:

【化5】



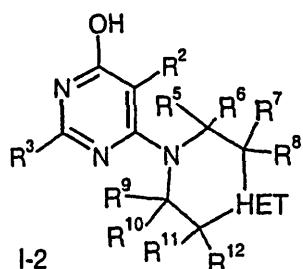
の化合物と反応させて、式 I - 1 :

【化 6】



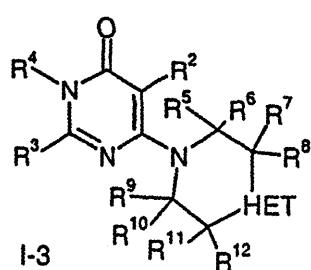
の化合物とすること（式中、R³およびR⁵～R¹²は上記の意味を有する）、
b) 式 I - 2 :

【化 7】



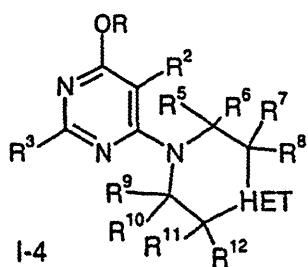
の化合物を反応させて、式 I - 3 :

【化 8】



の化合物、または式 I - 4 :

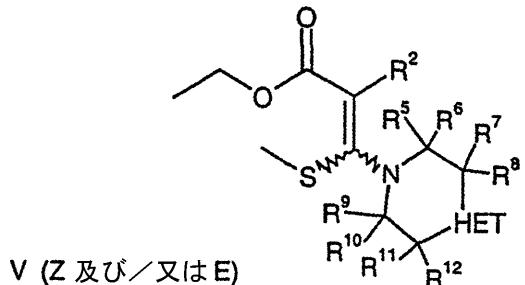
【化 9】



の化合物とすること（式中、R²、R³およびR⁵～R¹²は上記の意味を有し、Rは水素または低級アルキルを表す）、

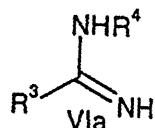
c) 式V：

【化10】



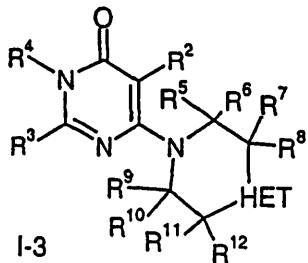
の化合物を、式VIa：

【化11】



の化合物と反応させて、式I-3：

【化12】



の化合物とすること（式中、置換基は上記の意味を有する）、および、所望により、式Iの化合物中の官能基を他の官能基に変換すること、および、所望により、式Iの化合物を薬学的に許容しうる塩に変換すること、を含む方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

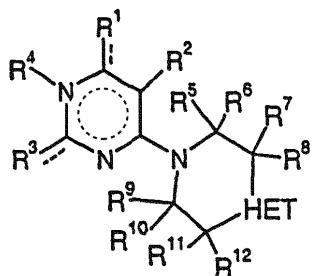
【訂正対象項目名】0002

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0002】

【化13】



【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

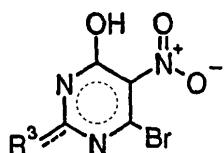
【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

【化16】



III

の化合物を、式IV:

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

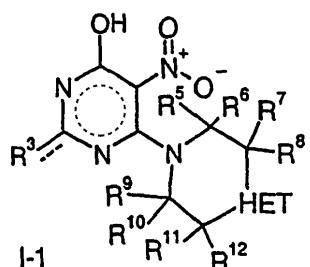
【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

【化18】



【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

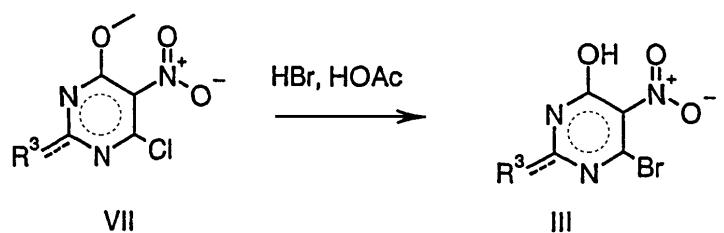
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

【化 2 5】

スキーム I



【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 2

【訂正方法】変更

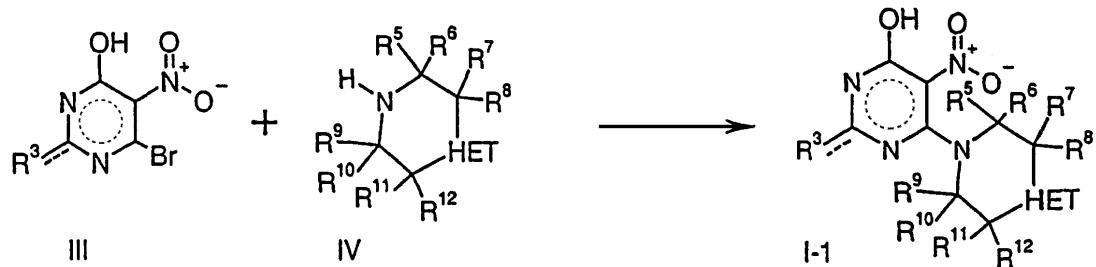
【訂正の内容】

(0 0 4 2)

【化 2 6】

• 102 •

スキーム II



【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

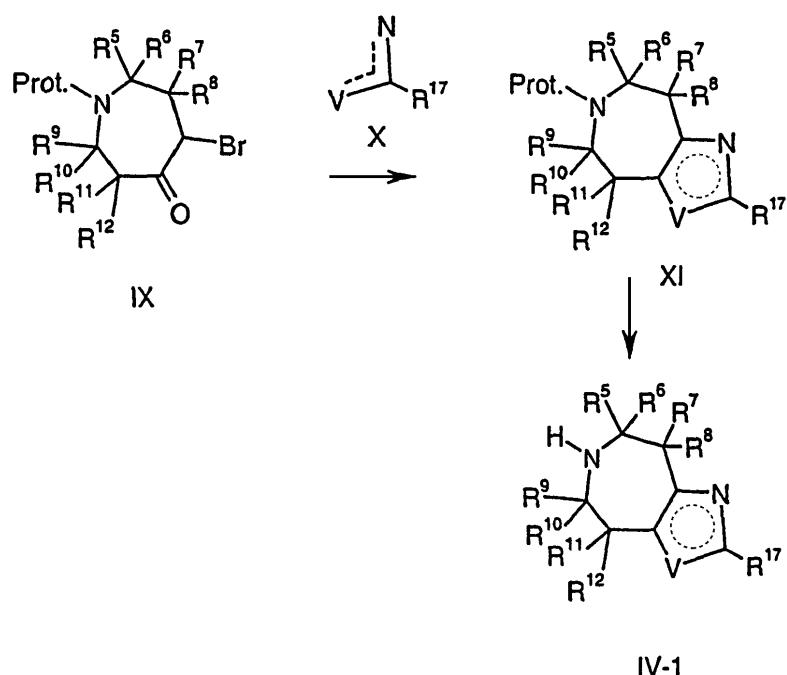
【訂正対象項目名】 0 0 4 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

(0 0 4 7)

【化28】

スキーム IV

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

【化29】

スキーム V